

平成21年度決算に係る
定期監査調書

平成22年5月

鳥取県男女共同参画センター

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	8頁
8	収入事務処理状況調べ	8頁
9	収入未済額調べ	8頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8頁
11	不納欠損額調べ	8頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9頁
13	工事請負費調べ	11頁
14	財産に関する調べ	12頁
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
16	借受不動産明細調べ	12頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12頁
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12頁
20	備品の処分状況調べ	12頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12頁
22	普及啓発・人材育成事業等の概要	13頁
23	情報収集・提供事業の概要	15頁
24	相談事業等の概要	16頁
25	活動・交流の支援の概要	16頁
26	鳥取県男女共同参画推進員申出	17頁
27	意見、要望等	19頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	係（担当）名	課の主な所掌事務
男女共同参画センター		<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供に関すること。 ・ 男女共同参画社会の形成に関する講習会の開催及び指導者の育成に関すること。 ・ 男女共同参画社会の実現を目的とした団体及び個人に対する活動拠点の提供並びにこれらの相互の交流及び連携に関すること。 ・ 性別による差別的な取扱いその他男女共同参画社会の形成を阻害する要因となっている問題に係る相談に関すること。 ・ 男女共同参画推進員事務局

4 職員の定員、現員調べ

（平成22年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	21.4.1現在	当該年度	21.4.1現在	当該年度	21.4.1現在	当該年度	21.4.1現在	
定員	5	5					5	5	所長1 次長兼企画員1 企画員3（課長補佐級1、係長級2）
現員	5	5					5	5	
過不足(Δ)	0	0					0	0	
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	10	9					10	9	アドバイザー1 相談員6 非常勤（事務）3

5 役付職員の調べ

(平成22年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
所長兼事務局長	江原 修	年 2	月 1	
次長兼企画員	奥田 益春	1	1	出納員
企画員	石井 宏美	1	1	

6 主な事業に関する調べ

事業名	事業の概要																																																								
共同参画時代の 自分磨きセミナー 決算見込額 1,481千円 (財源内訳) 一般財源 1,481千円	ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 今まであまり男女共同参画について学習する機会がなかった人たちが、興味をもって参加できるような場をつくることで、理解者の裾野拡大を図る。 (イ) 事業の実施状況 年間(6月～3月)をとおして10回のセミナーを開催した。 10回のうち5回は鳥取県男女共同参画をすすめるネットワークに委託した。 開催場所は県内東・中・西部。																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>人生を豊かにする講演会(6/27) 『“男だてら”に“女泣き”』</td> <td>奥山 和弘さん (掛川西高等学校副校長)</td> <td>とりぎん文化会館</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>パノラマシンポジウム(7/8) ～全県条例化をめざして～</td> <td>県内市町村の議員・教育長 10名</td> <td>倉吉未来中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>映画上映会～女性と平和を考える “シロタ家の20世紀”～(8/22)</td> <td>映画上映「シロタ家の20世紀」</td> <td>とりぎん文化会館</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>きずなを深めるコミュニケーション術(9/19)</td> <td>青木 悦さん(教育ジャーナリスト)</td> <td>倉吉交流プラザ</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>老いて賢くなる話(11/20)</td> <td>樋口 恵子さん(NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長)</td> <td>倉吉未来中心</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>エコ家事サミット(11/22)</td> <td>マレーシア・中国等5カ国からの登壇者 8名</td> <td>鳥取ガス展示場</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>性差医療フォーラム(1/30)</td> <td>戸田 稔子さん(松江生協病院女性診療科管理部長)他 3名</td> <td>米子ふれあいの里</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>HighSchool ジェンダー・トークバトル(1/23)</td> <td>福井 正樹さん(よりん彩運営協議会副会長)</td> <td>湯梨浜高等学校</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>地域リーダーになるためのグループディスカッション講座(2/13)</td> <td>伊藤 豊さん(スローガン株式会社代表取締役社長)</td> <td>米子市文化ホール</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>お話と歌でつづる家族のカタチ(3/6)</td> <td>矢口 周美さん(歌手・オートハープ奏者)</td> <td>米子ふれあいの里</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	講師	会場	参加者	1	人生を豊かにする講演会(6/27) 『“男だてら”に“女泣き”』	奥山 和弘さん (掛川西高等学校副校長)	とりぎん文化会館	125	②	パノラマシンポジウム(7/8) ～全県条例化をめざして～	県内市町村の議員・教育長 10名	倉吉未来中心	200	③	映画上映会～女性と平和を考える “シロタ家の20世紀”～(8/22)	映画上映「シロタ家の20世紀」	とりぎん文化会館	160	4	きずなを深めるコミュニケーション術(9/19)	青木 悦さん(教育ジャーナリスト)	倉吉交流プラザ	58	⑤	老いて賢くなる話(11/20)	樋口 恵子さん(NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長)	倉吉未来中心	260	⑥	エコ家事サミット(11/22)	マレーシア・中国等5カ国からの登壇者 8名	鳥取ガス展示場	45	7	性差医療フォーラム(1/30)	戸田 稔子さん(松江生協病院女性診療科管理部長)他 3名	米子ふれあいの里	50	8	HighSchool ジェンダー・トークバトル(1/23)	福井 正樹さん(よりん彩運営協議会副会長)	湯梨浜高等学校	117	⑨	地域リーダーになるためのグループディスカッション講座(2/13)	伊藤 豊さん(スローガン株式会社代表取締役社長)	米子市文化ホール	22	10	お話と歌でつづる家族のカタチ(3/6)	矢口 周美さん(歌手・オートハープ奏者)	米子ふれあいの里	71	※○数字は男女共同参画をすすめるネットワークへ委託分
回	テーマ	講師	会場	参加者																																																					
1	人生を豊かにする講演会(6/27) 『“男だてら”に“女泣き”』	奥山 和弘さん (掛川西高等学校副校長)	とりぎん文化会館	125																																																					
②	パノラマシンポジウム(7/8) ～全県条例化をめざして～	県内市町村の議員・教育長 10名	倉吉未来中心	200																																																					
③	映画上映会～女性と平和を考える “シロタ家の20世紀”～(8/22)	映画上映「シロタ家の20世紀」	とりぎん文化会館	160																																																					
4	きずなを深めるコミュニケーション術(9/19)	青木 悦さん(教育ジャーナリスト)	倉吉交流プラザ	58																																																					
⑤	老いて賢くなる話(11/20)	樋口 恵子さん(NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長)	倉吉未来中心	260																																																					
⑥	エコ家事サミット(11/22)	マレーシア・中国等5カ国からの登壇者 8名	鳥取ガス展示場	45																																																					
7	性差医療フォーラム(1/30)	戸田 稔子さん(松江生協病院女性診療科管理部長)他 3名	米子ふれあいの里	50																																																					
8	HighSchool ジェンダー・トークバトル(1/23)	福井 正樹さん(よりん彩運営協議会副会長)	湯梨浜高等学校	117																																																					
⑨	地域リーダーになるためのグループディスカッション講座(2/13)	伊藤 豊さん(スローガン株式会社代表取締役社長)	米子市文化ホール	22																																																					
10	お話と歌でつづる家族のカタチ(3/6)	矢口 周美さん(歌手・オートハープ奏者)	米子ふれあいの里	71																																																					
	イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・新規事業																																																								
	ウ 成果 ・幅広い分野でのテーマを設定してセミナーを開催したので、今まであまりよりん彩の事業に参加したことのない新たな人の参加が多くあり、理解者の裾野拡大につながった。 ・基本的に土曜日の午後開催としたことで、参加しやすいという感想が多かった。 ・高校に出かけていって実施したセミナーでは、大人が当たり前のように見過ごしてしまうことにも鋭い視点を向けるなど若者の見方や考え方が新鮮で、これから事業を進めていく上で大いに参考になった。 ・10回のうち5回を県男女共同参画をすすめるネットワークに委託したので、計画段階からさまざまな団体と協働しながらすすめることができた。																																																								
	エ 課題 ・ただチラシを送付するだけでは参加者は増えないことから、多くの県民の方にセミナーの開催を知っていただくための広報活動に工夫が必要である。 ・米子でのセミナーの時、松江から多くの参加があった。鳥根県の男女共同参画センターともっと連携し合いながら事業をすすめる、交流を深めていくことが必要である。																																																								

事業名	事業の概要
<p>共同参画時代のパパ 力(ぢから)養成 フォーラム</p> <p>決算見込額 428千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 428千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 男性ひとりひとりが楽しみながら家事・育児に参加し、笑ってるお父さんになることで、地域社会全体のワーク・ライフ・バランスを実現する契機とする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○開催日及び内容 平成22年1月16日(土) 13:30~16:30 会場: 倉吉未来中心 小ホール アトリウム ホワイエ テーマ「笑ってるお父さんになろう。ファザーリング・とっとり2010」 内容: オープニング 地元お父さん2名による絵本読み聞かせ 第1部 講演会「イキイキ生きる父親が社会を変える」 講師: NPO法人ファザーリング・ジャパン代表安藤哲也さん 第2部 トークセッション「今こそパパ力(ぢから)の見せどころ!!」 コメンテーター 安藤哲也さん パネリスト 中島伸一さん (アマチュアミュージシャン&サラリーマン) 長谷川ゆかりさん(県子育て支援総室長) コーディネーター 福井正樹さん(パパ力企画運営委員長) 《アトリウム》 キッズコーナー(パルーンアートなど12のブース) 《ホワイエ》 パネル展示 ・明治大学水野ゼミナール学生ワーク・ライフ・バランスパネル ・レディースあすか海外視察研修のパネル</p> <p>○参加者 フォーラム参加者: 120名 キッズコーナー参加者: 約90名 計210名 ○民間有志による企画運営委員会を7月に立ち上げ、本番までに7回の会議を重ねて企画を練ったり、1月16日のフォーラム当日までに3回のプレ・セッションを開催した。(10月・11月・12月)</p> <p>イ 平成21年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・新規事業</p> <p>ウ 成果 ・企画運営委員会での7回に及ぶ事前の話し合いと3回のプレ・セッションで、パパ力(ぢから)の必要性や大切さを委員それぞれが理解して本番に臨むことができた。 ・安藤哲也さんの講演は、実践や体験に基づいたもので、説得力があり、多くの参加者が納得する内容だった。(新しい気づきがあったと答えた人 96%) ・企画運営委員会の活動を通して、男女共同参画に理解が深く、推進する活動力を持った男性のネットワークが新たに形成されつつある。</p> <p>エ 課題 ・大学生・専門学校生などブレパパ、ブレママ世代や直前の再度のPR不足から参加が少なかった保育園・幼稚園保護者への広報にも注力すべきであった。 ・“パパ力(ぢから)”と聞くと、自分には関係ないことと考えてしまう世代の人にも興味を持って参加してもらえるような工夫が必要である。 ・男性の家事育児参加は、社会の中のワーク・ライフ・バランスからみても今後の大きな課題である。来年度以降も、行政だけでなく、民間との協働で継続した取り組みをしていくことが必要である。</p>

事業名	概	要								
女性の相談にかかわる相談員等のための基礎講座 決算額 252千円 (財源内訳) 一般財源 252千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 女性の相談にかかわることの多い相談員や相談活動をしている者のうち、初心者や経験年数が浅い者を対象に、男女共同参画の視点に立って、よりよい相談・支援ができるよう資質向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 開催日・会場及び参加者 (2会場とも同じ内容、10:00~16:00、定員各30名)</p> <table border="0" data-bbox="518 593 1465 667"> <tr> <td>・東部会場</td> <td>平成21年7月16日(木)</td> <td>鳥取市福祉文化会館</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>・西部会場</td> <td>" 7月17日(金)</td> <td>米子市文化ホール</td> <td>48人</td> </tr> </table> <p>② 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義【理論編】「相談の基礎知識」 <ul style="list-style-type: none"> ・相談活動の意義と相談員の役割 ・基礎的知識と相談の現状 ・女性の相談の背景と支援のあり方 【実践編】「相談活動の実際「ワーク」」 <ul style="list-style-type: none"> ・相談者への適切な対応と留意点 ・グループワークによる事例検討とロールプレイ(参加型学習) ・相談員のセルフケア ・講師 市場恵子さん (大学社会心理学講師。カウンセラー) <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度は県内3地区で基礎講座を開催したが、今年度は経験に応じ「基礎編」「応用編」に分けて実施した。 ・上記により、今回は基礎的な知識と技術の習得を重点的に行うこととし、受講対象者も学校関係者などへさらに広げた。 ・2回の講座を同一の講師とし、連続日程で開催し、業務の効率化と経費の負担軽減を図った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員を大幅に超える申し込みがあったため、講師の理解を求め、できる限り受け入れた。多くの希望者に研修の機会を提供できた。 ・幅広い参加者層に「傾聴」や「受容」、「自尊感情」や「二次感情」など基礎的知識や心構えを伝えることができた。 ・近年相談者のセルフケアが課題となっているが、講義の内容や参加者同士の交流によって、参加者自身が自分自身を客観的にとらえたり、自信への洞察を深めることなどのエンパワメントを図ることができた。 ・身近な例によるジェンダーチェック等を通して、ジェンダーへの気づきやジェンダーが女性相談に影響していること等ジェンダーの視点が理解された。 ※ジェンダーチェックとは、固定的性別役割分担意識のチェックのこと。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座に対する需要が大きく、かつ、県全体の相談体制の底上げを図る上でも、継続して実施することが重要である。また、より効果的・効率的に事業を行うため、人権局が行う相談員講座との連携・調整も必要である。 	・東部会場	平成21年7月16日(木)	鳥取市福祉文化会館	63人	・西部会場	" 7月17日(金)	米子市文化ホール	48人	
・東部会場	平成21年7月16日(木)	鳥取市福祉文化会館	63人							
・西部会場	" 7月17日(金)	米子市文化ホール	48人							

事業名	概	要
<p>女性の相談にかかわる相談員等のための応用講座</p> <p>決算額 162千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 162千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 女性の相談に関わっている相談員等のうち、経験年数3年以上の者を対象として、DVや虐待など、複雑化、深刻化している女性相談に適切な対応のできる専門性の高い人材を育成する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 開催日・会場及び参加者 平成21年10月31日(土) 倉吉未来中心 22人(定員30人)</p> <p>② 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「DVや虐待などの相談の状況と支援」 <ul style="list-style-type: none"> ・被害者の心身の症状、加害者の心理的特徴 ・子どもへの影響 ・支援者の役割と留意点 ・二次被害を与えない対応のポイント ・回復の支援方法 ・相談者の状況を踏まえた支援の方法 ・事例検討〈参加者から提示された事例検討2件〉 ・研修の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議 ・講師 竹下小夜子さん (精神科医。さよウイメンズメンタルクリニック院長) <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV、虐待に関する専門知識や具体的な対応の仕方を深く学ぶことができた。 ・高度な知識と豊富な臨床の経験を持つ講師の講義により、参加者の満足度は高かった。特に、経験者ゆえの思い込みや認識、対応を見直すきっかけとなり、今後の相談業務の質を高めるのに役立った。 ・行政の相談員や民間での相談業務関係者、警察や母子支援施設の職員など、様々な立場の参加者が事例検討に参加することでお互いの支援に対する立場や関わり方を知ることができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に専門性を求めるとDVや虐待などが中心分野となるため、その所管である福祉保健部で実施するのが適当である。 	

事業名	概	要								
<p>思いをカタチにする女性の地域参画セミナー</p> <p>決算額 171千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 171千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 地域づくりにかかわっている女性や、これから参画していこうとする女性が、理論と技術を総合的に学び、実践力をつけ、交流を図る講座を開催することで、女性の能力を高め、社会参画を促す。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 開催日・会場及び参加者(2回連続講座 定員30名)</p> <table border="0"> <tr> <td>【第1日】</td> <td>平成21年11月28日(土)</td> <td>米子市文化ホール</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>【第2日】</td> <td>"</td> <td>12月19日(土)</td> <td>新日本海新聞社 13人</td> </tr> </table> <p>② 内容</p> <p>【第1日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義「女性の地域づくり参画の意義と課題」山下文江課長(米子市) 「地域問題の読み方」寺井数美記者(NHK西部支局) 「地域づくりはみんなの知恵で」大月悦子会長 (鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク) ・ 交流昼食「自己紹介・活動紹介」 ・ 講演「未来は私を待っている」上田理恵子代表((株)マザーネット) ・ 講義「まちづくりプランのポイント」市村節子企画員(西部県民局) 「問題点、課題の抽出にかかるワークの前に」大月悦子会長 ・ 企画書づくり 指導:大月悦子会長、市村節子企画員 テーマ:「まちづくり」「人材育成」「子育て支援」「男女共同参画の推進」 <p>【第2日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義「豊かな人間関係を築くために」大月悦子会長 企画書づくり 指導:大月悦子会長、市村節子企画員 ・ 企画書の発表 指導助言:池田正仁局長(西部生活環境局)ほか <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広く地域づくりに活躍している者、これから参画しようとする者に対象を広げ、参加者同士の交流の時間を設けた。 ・ 様々な分野で実際に活躍中の女性の講演(講義)を数多く聞けるようにした。 ・ 「講義」「演習」から一歩進め、参加者が企画書を作成するという実践型、参加型の内容を取り入れた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各界で活躍する講師の姿が参加者にとって女性の生き方、社会参画のモデルとなった。 ・ 「思いをカタチにする」困難さや重要性に気づき、その方法を学ぶことができた。 ・ 交流により、お互いの活動を知り視野を広げることができた。 ・ グループで作成した企画書を実際に地域での活動で実践することとし、平成22年8月に報告会を持つことになった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が少なかったため、日程や広報の検討や工夫が必要である。 ・ 実際に地域でリーダーとなっていける人材はまだ少ないため、今後も実践型の講座の継続が必要である。 	【第1日】	平成21年11月28日(土)	米子市文化ホール	14人	【第2日】	"	12月19日(土)	新日本海新聞社 13人	
【第1日】	平成21年11月28日(土)	米子市文化ホール	14人							
【第2日】	"	12月19日(土)	新日本海新聞社 13人							

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
- (2) 使用料 該当なし
- (3) 手数料 該当なし
- (4) 財産収入 該当なし
- (5) 諸収入

(平成22年1月31日現在) (単位:円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	目	節							
雑入	雑入	自動車管理事業収入	2	63,112	63,112	0	0		公用車の集中化及びびり-ス化に伴う使用料
	目計		2	0	63,112	0	0		
	合計		2	0	63,112	0	0		

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1.2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況の調べ

(1) 負担金

(平成22年1月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	予算額令達額 円	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額 円	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
企画総務費	2,638,000	未来中心保守点検 業務等委託費用負 担金	(財)鳥取県文化振興財団 鳥取県立倉吉未来中心	0.22% ~ 3.27%	21.6.16他	894,195	鳥取県立倉吉未来中心等の管 理運営経費についての覚書	管理面積按分
企画総務費	373,000	施設管理に関する 委託料等負担金	鳥取県消費生活センター	16.9%	22.3月末 予定	0	観光政策課、交流推進課、消 費生活センター、男女共同参画推 進課との管理運営経費につい ての覚書	管理面積按分
支出額が10万 円未満のもの						2,000		鳥取県図書館協 会年間費
目計								
合計						896,195		

(2) 補助金
 予算科目 (企画総務費)

① 国 補 分 該 当 な し

② 単 県 分

(平成22年1月31日現在) (単位:円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備 考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額	
事業の内容				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
男女共同参画団体活動支援補助金 (20年度)	FTとつと り		円 200,000	21.5.20	—		概	21.7.7	円 200,000	未完了
県内で活動する団 体が行う男女共同 参画に関する普及 啓発事業及び関連 事業で先駆的な取 組みを補助する (公募により選定)			(補助率: 10/10 200,000	21.6.17	—					
				21.6.25						
男女共同参画団体活動支援補助金 (20年度)	子育てサ トすくすく クラブ		146,000	21.7.10	—	21.12.18	概	21.8.28	円 146,000	
県内で活動する団 体が行う男女共同 参画に関する普及 啓発事業及び関連 事業で先駆的な取 組みを補助する (公募により選定)			(補助率: 10/10 146,000	21.8.12	—					
				21.8.18	21.12.10	21.12.10				
男女共同参画団体活動支援補助金 (20年度)	新日本婦人 の会 鳥取県支部		45,000	21.5.20	—	21.8.18	精	21.8.28	円 45,000	
県内で活動する団 体が行う男女共同 参画に関する普及 啓発事業及び関連 事業で先駆的な取 組みを補助する (公募により選定)			(補助率: 10/10 45,000	21.6.6	—					
				21.6.25	21.8.12	21.8.12				
単 県 分 計									391,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記載する場合の()書きは補助金相当額である。									

(3) 交付金 該 当 な し

(平成22年1月31日現在)(単位:円)

(4) 委託料

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初			入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
企画総務費	単県	図書館システムソフトウェア保守委託料	(株)富士通中 国システムズ 鳥取事業所長	378,000	(21.4.1) 378,000	21.4.1 ~ 22.3.31	21.3.31 (免除) 随	21.4.30 他 21.4.30 他	精	21.5.20 他	283,500	
企画総務費	単県	図書情報提供 サービス業務 委託料	(株)富士通中 国システムズ 鳥取事業所長	630,000	(21.4.1) 630,000	21.4.1 ~ 22.3.31	21.3.31 (免除) 随	21.4.30 他 21.4.30 他	精	21.5.20 他	472,500	
企画総務費	単県	平成21年度 共同参画時代 の自分磨きセ ミナ	鳥取県男女共 同参画をすす めるネットワーク	809,100	(21.5.31) 787,500	21.6.1 ~ 22.3.31	21.5.29 (免除) 随	未完了	前	21.6.17	787,500	
予定価格が20万 円未満のもの											0	
目計											1,543,500	
合計											1,543,500	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の受払状況

(平成22年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 55,875	円 84,920	円 109,760	円 31,035	(切手)@5:1枚 @10:208枚 @50:129枚 @80:33枚 @100:1枚 @120:121枚 @140:1枚 (葉書)@50:100枚 @往100:1枚
合 計	55,875	84,920	109,760	31,035	

(3) 債 権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物 該当なし

(2) 物 品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成22年1月31日現在)

車 種	年式	登録番号	取得年月日	総走 行キ ロ 数	本 年 度			備 考
					稼働 日数	(1ヶ月平均) 走行キロ数	修理費等	
軽自動車 (貨物・バン)	18	鳥取480 い2116	18・7・14	km 26,738	日 60	(518.6) km 2,593	円 2,100	タイヤ交換
合 計		台 1		km 26,738	60	km 2,593	円 2,100	

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

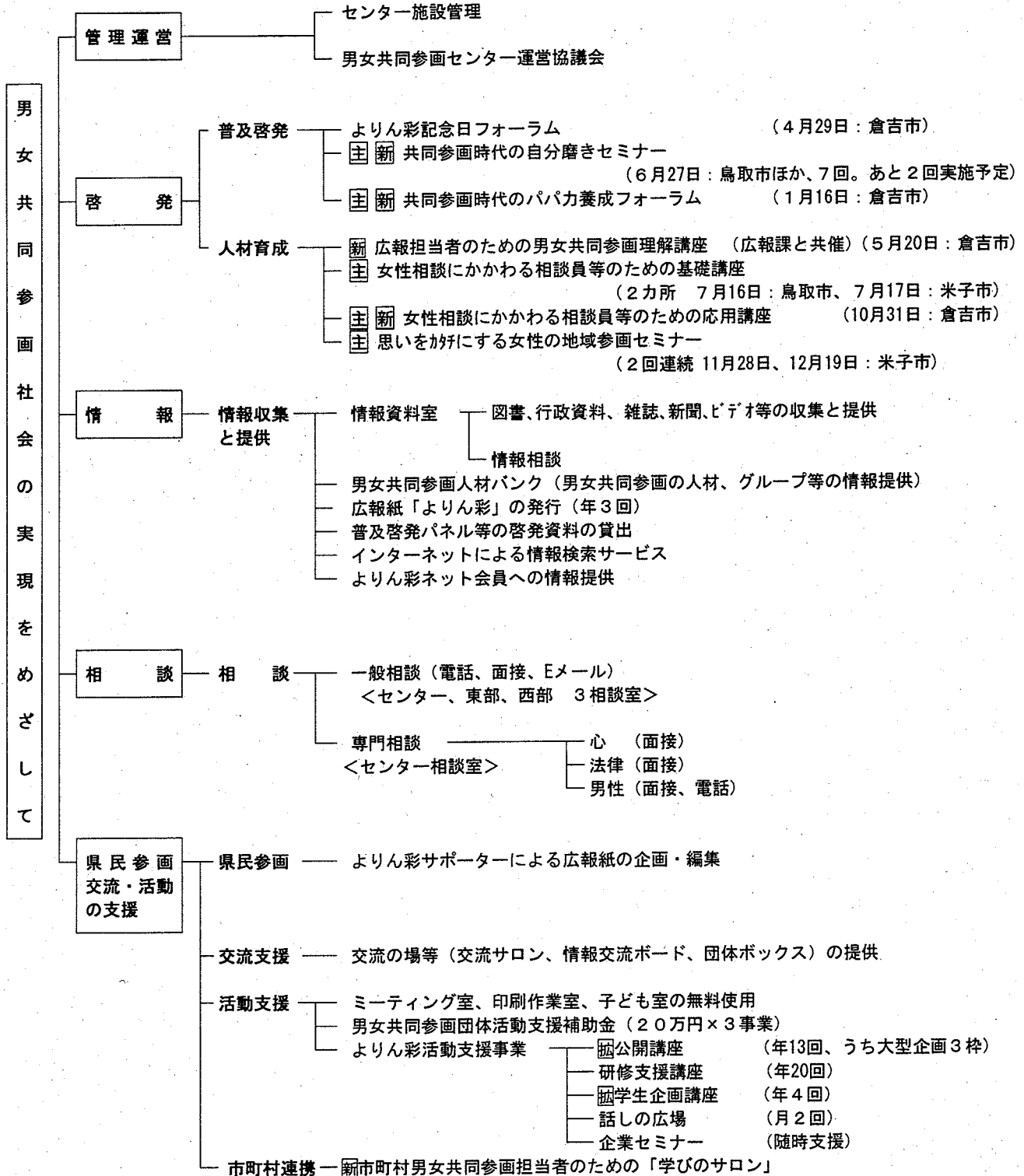
21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

2.2 普及啓発・人材育成事業等の概要

(1) 事業実施概要

男女共同参画センター事業体系図（平成21年度・実績）

H22.1.31現在



※ 男女共同参画推進員事務局

男女共同参画に関する苦情等の受付、審査を行う第三者機関（男女共同参画推進員）の事務局

注：主 は、主な事業 新 は、新規事業を示す。

(2) 講座・セミナー等の開催状況

平成22年1月31日 現在

区分	開催回数				参加人数				主なセミナー・講座名
	平成21年度 1月末現在 (回)	平成20年度 1月末現在 (回)	増減数 (回)	増減率 (%)	平成21年度 1月末現在 (人)	平成20年度 1月末現在 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)	
普及啓発 関係	10	(3) 3	7	233.3	1,488	(403) 403	1,085	269.2	よりん彩記念日フォーラム 主 共同参画時代の自分磨きセミナー 主 共同参画時代のパパ力養成フォーラム
人材育成 関係	6	(10) 9	△3	△33.3	205	(513) 452	△247	△54.6	主 女性相談にかかわる相談員等 のための基礎講座 主 女性相談にかかわる相談員等 のための応用講座 広報担当者のための男女共同参 画理解講座 主 思いをかたちにする女性の地域 参画セミナー
活動支援 事業関係	30	(49) 38	△8	△18.9	1,162	(2,891) 2,050	△888	△43.3	
うち公開 講座	4	(9) 6	△2	△33.3	320	(961) 45	△139	△30.3	
うち研修 支援講座	9	(11) 9	0	0	370	(491) 41	△41	△10.0	
うち学生 企画講座	1	(1) 0	1	100	22	(35) 0	22	100	
うち話し の広場	4	(6) 6	△2	△33.3	124	(146) 146	△22	△15.1	
うち出前 説明	12	(22) 17	△5	△29.4	326	(1,258) 1,034	△708	△68.5	
合計	46	(62) 50	△4	△8.0	2,855	(3,807) 2,905	△50	△1.7	

注：主 は、主な事業を示す。

(3) 施設利用者数

平成22年1月31日 現在

区分	利用日数				利用人数			
	平成21年度 1月末現在 (日)	平成20年度 1月末現在 (日)	増減数 (日)	増減率 (%)	平成21年度 1月末現在 (人)	平成20年度 1月末現在 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
交流サロン	257	(318) 268	△11	△4.1	13,634	(17,274) 14,161	△527	△3.7
印刷作業室	182	(258) 215	△33	△15.3	590	(1,023) 829	△239	△28.8
ミーティング室	158	(214) 180	△22	△12.2	1,603	(2,258) 1,852	△249	△13.4
子供室	249	(310) 260	△11	△4.2	3,687	(4,203) 3,452	235	6.8
相談室	133	(149) 119	14	11.8	217	(243) 185	32	17.3
計	979	(1,249) 1,042	△63	△6.0	19,731	(25,001) 20,479	△748	△3.7

※()は、前年度の3月31日現在

23 情報収集・提供事業の概要

(1)事業実施概要

男女共同参画社会の形成に関する情報を幅広く収集、提供している。

- ア 情報資料室：①図書、ビデオ、行政資料、雑誌等の閲覧、貸出 ②図書の企画展示 ③情報相談
- イ インターネットパソコンの無料利用サービス
- ウ 男女共同参画人材バンク
- エ 広報紙の発行（1月末現在2回、年間3回予定）
- オ 啓発用パネルの貸出（随時）

(2)情報収集等の状況

平成22年1月31日 現在

区 分		平成21年度 1月末現在	平成20年度 1月末現在	増減数	増減率(%)
図 書 (一般・行政 郷土・児童)	資 料 数	9,851	(7,433)	2,448	33.1
	貸 出 数	3,947	(3,205)	1,378	53.6
雑 誌	資 料 数	1,644	(1,543)	138	9.2
	貸 出 数	453	(437)	86	23.4
映像資料	資 料 数	406	(391)	15	3.8
	貸 出 数	189	(190)	32	20.4
合 計	資 料 数	11,901	(9,367)	2,601	28.0
	貸 出 数	4,589	(3,832)	1,496	48.4
利用登録者数(人)		1,807	(1,582)	281	18.4
企画展示の開催回数(回)		7	(6)	2	40.0
情報相談の件数		154	(69)	91	144.0
男女共同参画人材バンク 登録者数(人)		90 《 4 》	(91《 16 》 103 《 10 》	△13 《 △6 》	△12.6 《 △60 》

※()は、前年度の3月31日現在

《 》は、当該年度の新規登録者数で内書

- ・第1回 (4/16)
 - 学習会「男女共同参画基本法を読む」
講師：男女共同参画推進課 渡辺課長
 - 情報及び意見交換会
 - 参加者数 20名
- ・第2回 (5/20)
 - 講義及びワークショップ「メディアの表現方法から男女共同参画を学ぶ」
講師：立命館大学等非常勤講師 登丸あすか さん
 - 参加者数 45名
- ・第3回 (7/24)
 - 伝達研修「講座・イベントの企画とチラシづくりの秘訣」
 - 参加者数 12名
- ・第4回 (10/6)
 - 伝達研修「男女共同参画社会の基礎知識と情報・データの活用」
 - グループディスカッション「課題シートを元に講座企画案を練る」
 - 参加者数 12名
- ・第5回 (11/20)
 - グループディスカッション「課題シートを元に講座企画案を練る」
 - 参加者数 8人
- ・第6回 (2/4)
 - 講義「男女共同参画の視点をもって施策を考える」
講師：湯梨浜町議会議員 会見祐子 さん
鳥取県連合婦人会会長 井上耐子 さん
 - 講座企画の実現に向けて
 - 参加者数 11人

(2)よりん彩ネット利用者数

平成22年1月31日 現在

区 分	平成21年度(1月末現在)				平成20年度(1月末現在)				増 減			
	東部 (人)	中部 (人)	西部 (人)	計 (人)	東部 (人)	中部 (人)	西部 (人)	計 (人)	東部 (人)	中部 (人)	西部 (人)	計 (人)
個 人					(17)	(11)	(9)	(37)				
	18	21	10	49	17	11	9	37	1	10	1	12
団 体					(25)	(70)	(14)	(109)				
	35	66	15	116	25	70	14	109	10	△4	1	7
計					(42)	(81)	(23)	(146)				
	53	87	25	165	42	81	23	146	11	6	2	19

※平成16年8月31日までは、団体のみ(利用登録制度)。

()は、前年度の3月31日現在

2.6 鳥取県男女共同参画推進員申出(平成21年度処理状況(概要))

(1) 鳥取県男女共同参画推進員(五十音順)

氏 名	職 業	住 所
落 合 潮 (おちあい うしお)	大学名誉教授	米子市
田 中 俊 一 (たなか しゅんいち)	元会社役員	鳥取市
谷 本 静 枝 (たにもと しずえ)	人権啓発関連施設所長	倉吉市
濱 田 由紀子 (はまだ ゆきこ)	弁護士	倉吉市

任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日

(2) 申出処理件数 (平成22年1月31日現在)

区 分		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
処 理 件 数	前年度繰越	2	0	0	0	0
	新規申出	2	1	2	2	2
	合 計	4	1	2	2	2
	次年度への繰越	0	0	0	0	0
審査中						1
審 査 結 果	勸 告	1	0	1	0	0
	意見公表	2	1	1	2	1
	棄 却	1	0	0	0	0
	却 下	0	0	0	0	0
	合 計	4	1	2	2	1

※審査結果件数：申出の一部について勧告、意見公表したものは、それぞれの区分に含む。

(3) 申出処理状況 (平成22年1月31日現在)

ア 平成21年度第1号申出

〔女性に限定したPTA活動及び職員の男女共同参画に関する意識啓発についての苦情〕

申 出 内 容	処 理 経 過	審 査 結 果 概 要
<p>①PTAには「母親委員会」という女性に限った活動が続いており、さらに県の審議会等の委員に母親委員会を通して母親が選出されるなど、女性が優遇されている状況が見受けられる。PTA会長等役員への女性の進出も進んできているので、役員を選出方法や組織体制について、女性の権利をことさらに厚くする必要はない。県は、このような古い規定や組織体制を指導すべきである。</p> <p>②県は男性がPTA活動に積極的に参画できるような啓発活動をすべきである。</p> <p>③行政担当者は前年踏襲で事業を続けていくのではなく、男女共同参画の視点でおかしい点は見直すなどしてほしい。</p>	<p>平成21年7月3日受付</p> <p>○第1回推進員会議 (7月10日) (申出者面接調査)</p> <p>○第2回推進員会議 (7月24日)</p> <p>○総務部自治研修所に対する書面調査実施 (8月6日)</p> <p>○第3回推進員会議 (8月21日) (県側 (教育委員会家庭・地域教育課及び企画部男女共同参画推進課面接調査実施))</p> <p>○第4回推進員会議 (9月11日)</p> <p>○第5回推進員会議 (10月26日)</p> <p>○第6回推進員会議 (11月9日)</p> <p>○第7回推進員会議 (審査結果概要決定) (12月14日)</p> <p>○審査結果最終決定 (1月19日)</p> <p>○意見公表、県関係機関へ審査結果通知 (1月25日)</p> <p>同日、教育委員会家庭・地域教育課、企画部男女共同参画推進課への趣旨説明及び意見交換</p>	<p><u>意見公表</u></p> <p>申出内容について、次のとおり意見を公表する。</p> <p>①県は、女性に限定した役員選任基準や委員会等の在り方について、見直すよう働きかけを行うべきである。</p> <p>②県は、男性のPTA活動への積極的な参加について、一層の啓発活動をすべきである。</p> <p>③県及び市町村には、管理職を始めとして全職員対象に、男女共同参画に関する研修を行うことを期待する。</p>

イ 平成21年度第2号申出

〔警察官・消防士の採用や募集に関する苦情〕

申出内容	処理経過	審査結果概要
<p>① 消防士の採用について、女性は出産等のために男性より不利な状況がありはしないか。</p> <p>② 警察官の採用試験（大卒）が男性は2回あるのに対し、女性には1回しかなく、警視庁や他県の採用試験との併願も認められていないのは不公平である。</p>	<p>平成21年8月4日 受付</p> <p>○第1回推進員会議（8月21日）</p> <p>○第2回推進員会議（9月11日）</p> <p>○第3回推進員会議（10月26日）</p> <p>○第4回推進員会議（11月9日）</p> <p>○第5回推進員会議（12月14日）</p> <p>○第6回推進員会議（1月25日）</p>	<p>審査中</p>

27 意見、要望等 なし